

調達管理番号・案件名
26a00275_モルディブ国税関研修施設整備計画準備調査(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2026年6月26日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	10	第2章 特記仕様書案 2. プロポーザルで特に具体的な提案を求める内容	提案を求める事項に「本事業による定量的効果として指標の提案」とあります。 一方で27ページに事業効果として2つの定量効果指標が示されています。ここではこれ以外の社会的なインパクトのある提案を求めていると理解してよろしいでしょうか。	「定量的指標」にて提案いただきたい点としましては以下のとおりです。 ・27ページに記載している2つの定量指標の実現可能性や妥当性 ・上記以外に考慮すべき定量的指標
2	14	第3条（10）発注者の既存事業との連携可能性の検討	想定する案件としてはあげられていませんが、配布資料「モルディブ国税関セクターに係る情報収集・確認調査ファイナル・レポート」p.8-14に「税関職員能力強化」技術協力プロジェクトに係る事業(案)が挙げられています。本事業(案)が事業化された場合に連携可能性を検討する必要があるか、もしくは事業化が決定されていないため無いものとして提案を作成すべきか、お考えがあればご教示お願いします。検討する可能性がある場合は、事業スケジュール想定もお聞かせください。	基礎調FRの「8－14」に記載されている「税関職員能力強化」は、現時点では提案段階にあり事業化がされている／決定しているものではございません。つきましては、右事業案はないものとしてプロポーザルを作成ください。
3	17	第4条 業務の内容 (12)施設、設備、研修運営、機材計画、及び他ドナーの動向と連携可能性の調査	他ドナーの動向に関して、「具体的な内容や連携の可能性について情報収集、確認を行う。」とありますが、対象施設の設計にあたって、これらのプログラムを行う事を前提条件として設計を行うとの理解でしょうか。 その場合、それらの研修が行われなかった場合の、利用率の低下発生リスクを回避するための具体的な業務があればご教示ください。	税関研修施設は基本的にMCSの研修を実施することを目的として設置する想定ですが、最終的な設計はMCSとの協議を通じて決定いたします。なお、他ドナーの活動の中でもMCSが受益者となるような研修であれば、「MCSの研修」に含めて検討ください。
4	22	第2章第5条「成果品」	成果品の一つに照査チェックリストが入っておりますが、第4条(18)には内部照査の実施は適用しないとあります。成果品リストに含めないという理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおり照査チェックリストは成果品リストには含めません。誤記載失礼しました。

5	22	第5条成果品	「本業務で作成・提出する報告書等及び数量」に照査 チェックリストがありますが、p.19の(18) 内部照査の実 施にあるとおり、提出対象外と理解してよろしいでしょ うか？	質問4と同じ回答となります。
6	24	再委託	再委託に記載のある「地形測量」「地質調査」「地盤調査」 はそれぞれどのような目的で再委託想定されているのか ご教示頂けますと幸いです。	地形測量は建設予定地及び周辺道路・敷地の現況地形 (高さ・起伏等高低差、敷地境界、既存構造物の有無、雨 水排水、接続するユーティリティ(下水等)等)を正確に把 握し、配置計画・設計の基礎資料を作成することを目的と しています。 地質調査は、地盤を構成する土質・岩質の種類や分布、層 構成、地下水位を把握することが目的です。この調査で は必要に応じて試掘を行います。 地盤調査は、建物支持力を算定するための地耐力の確認 や沈下特性など、構造物を安全に支持できるかを判断す るための力学的性質の評価が目的です。詳細設計におけ る基礎形式(直接基礎・杭基礎等)の検討に直結します。
7	24	再委託	地形測量の仕様として記載のある「縦横断測量」はどのよ うな目的で仕様として記載されているのかご教示頂けま すと幸いです。	「縦横断測量」は敷地内または計画動線に沿った高さの 変化、また断面で地形の形状を把握することを目的とし ます。 これにより、一般的には切土・盛土量の算定や造成計画 の検討、敷地排水計画及び給排水設計、建物へのアクセ スルート設計などを検討するために必要と考えておりま す。
8	24	再委託	一般的に地質調査と地盤調査は一つの調査として実施さ れる認識ですが、本案件で分けて記載されている理由は ございますでしょうか。	ご指摘のとおり、実務上は一体で扱われる場合も多いで すが、本案件で分けている理由としては質問6の回答を ご参照願います。
9	24	再委託	地質調査の仕様として記載のある「ボーリング調査」の数 量をご教示頂けますと幸いです。	地質調査におけるボーリング本数は、現時点で5本程度 を想定していますが、プロポーザルにて提案をお願いい たします。
10	30	第3章1(1) 1)類似業務の経験	評価対象とする類似業務として「税関関連施設にかかる 各種調査」とありますが、「税関」と「研修施設」にかかる 各種調査と理解してもよろしいでしょうか？	ご理解のとおりです。

以上